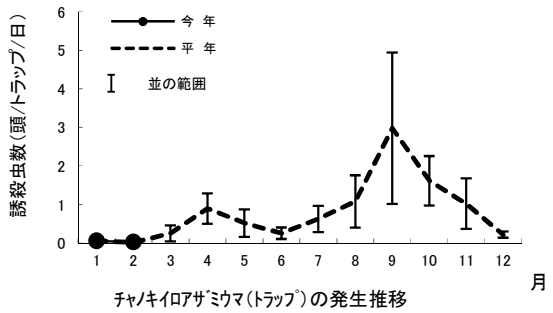
平成　29 年度

作物	マンゴー	地域	八重山群島
病害虫名	① チャノキイロアザミウマ		
2 月の発生量（現況）	ややや多		
3 月の増減傾向	↗		
増減傾向の根拠	トラップ誘殺虫数の平年の発生推移から、２月より発生量は増加すると考えられる。		

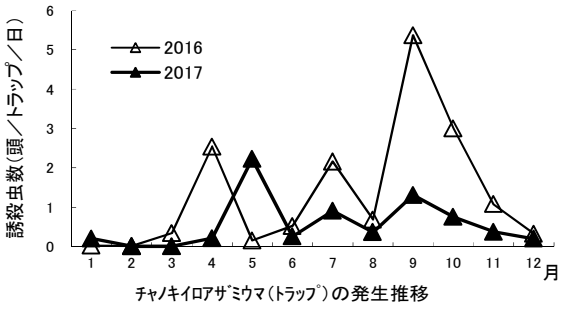
発生量の根拠（調査結果）

・ ２月の黄色粘着トラップへの誘殺虫数(頭/トラップ/日)は0.03頭（前年0.02頭、平年0.02頭）と平年よりやや多かった。

（今年のデータ）



（過去２年のデータ）



防除のポイント

・開花期以降は本種が増加しやすいので、早期発見・防除に努める。
・開花中に薬剤散布を行う場合は、受粉昆虫に影響のない薬剤を選択する。
・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。
・キダチコミカンソウなど、発生源となる施設内外の雑草を除去する。
・不要な新梢は、施設外に除去する。
・平成29年度病害虫発生予報第5号（平成29年7月27日付）コラム参照。

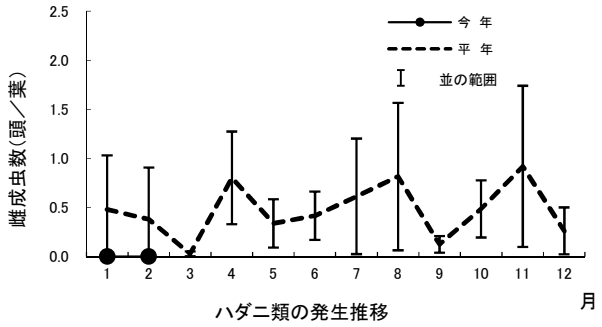
平成　29 年度

作物	マンゴー	地域	八重山群島
病害虫名	② ハダニ類		
2 月の発生量（現況）	(発生なし)並		
3 月の増減傾向	→		
増減傾向の根拠	雌成虫数の平年及び過去２年の発生推移から、２月と同程度の発生量と考えられる。		

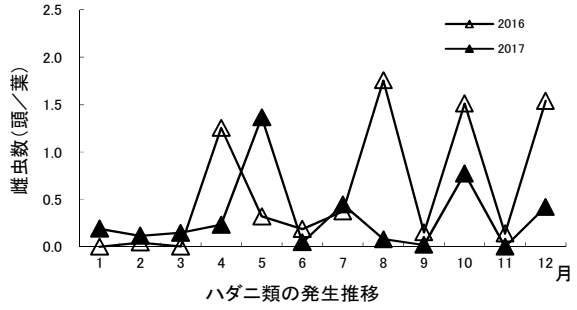
発生量の根拠（調査結果）

・ ２月下旬の調査の結果、成葉の葉当たり雌成虫数は0頭（前年0.1頭、平年0.4頭)と平年並であった。

（今年のデータ）



（過去２年のデータ）



防除のポイント

・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

・平成29年度病害虫発生予報第5号（平成29年度7月27日付）コラム参照。